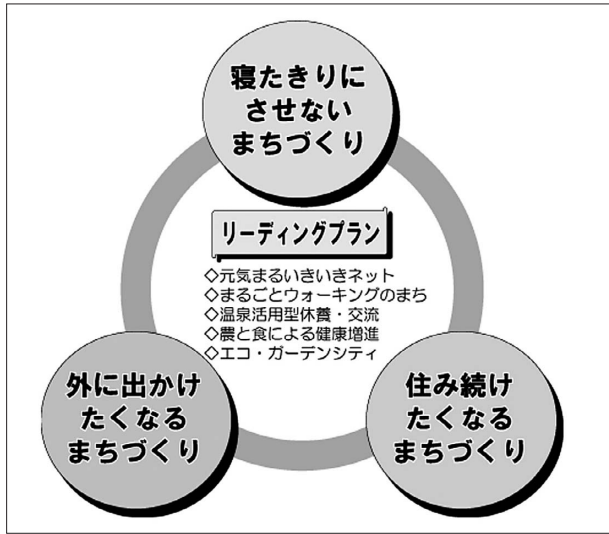


健康都市宣言のまちづくりを



尾張旭市の健康都市プログラム



加藤 敏彦 議員

質問

「健康都市宣言」について、

新しい動きとして「WHO(世界保健機関)健康都市」とい

う取り組みがある。これは健康を個人の責任としてのみ考えるのではなく、都市そのものを健康にすることを提唱している。

その考え方にもとづき、それぞれの都市の実情や抱えている課題を踏まえた健康都市の将来構想を持ち、それに向かって努力している都市を「健康都市」としている。県内では、名古屋市、大府市、尾張旭市が取り組んでいる。愛西市が「健康都市宣言」を行い、健康づくり一番のまちづくりを進めることを、ぜひ検討しては。

市長

尾張旭市長から、加盟のよびかけがあった。

宣言ばかりでもどうかと思う。国際連合の健康都市連合については、会費も必要。

総的にまずは「きらり☆あいさい21」(健康日本21計画)を市民によく伝え、そうしたことから健康管理をいこうことを思っている。

佐織庁舎で期日前投票の実施を

質問

8月30日投票で行われた総選挙は、歴史的な選挙となった。選挙の結果は、与党の自民、公明で140議席、野党が340議席となり、与党逆転し政権交代の条件ができた。

愛西市の結果をみても、千票以上得票した政党を比べると、与党の自民党、公明党で1万4千12票(前回は1万8千490票)。野党の民主党、日本共産党、社民党で2万818票(前回は1万6千897票)。与野党逆転となっている。

国民や住民が、自公政権にきびしい審判を下したいと考えるか。理由、要因は何だと考えるか。

市長

まさに厳しい結果だった。戦後の保守政権の崩壊という状況が生まれた。いずれにしても国民の堪忍袋の緒が切れたのではないか。

新政権において、愛西市が新しいまちづくりを進める中

で支障があるような施策があってはならない。よく見ながら、愛西市としての意見を国会議員にも、市長会でも出していきたい。

質問

4月の市長選挙から、期日前投票所は市役所一ヶ所で行われている。多くの住民から苦情が出ている。佐織庁舎に期日前投票所を設けてほしいとの要望が出ている。

総選挙の期日前投票は、佐屋地区が14・75%、佐織地区が7.7%であった。佐織庁舎で期日前投票をできるようにしてほしい声強いことを、選挙管理委員会に伝えては。

総務部長

期日前投票所については、選挙管理委員会として、慎重に慎重を期して一ヶ所にした。選挙の都度、知恵を出し合っって周知・PRなどに努めていきたい。